

報告事項 （１）令和５年度事業報告について

令和５年度は、コロナの５類移行や入国における水際対策の終了により、本県においても観光客の賑わいが本格化、令和元年（２０１９年）比で外国人入国者数は８月以降の月別実績で１００％を大きく超える数字が続いている。また、延べ宿泊者数においても年間累計で令和元年（２０１９年）比９８．１％とコロナ以前まで回復し、外国人に限れば１１１．２％と顕著な伸びとなっている。

こうした中、当連盟では、観光地域づくり支援として、福岡・大分ＤＣに向けた観光素材の開発支援、昨年度に引き続き筑前玄海エリアでの地域ブランディングの支援、サイクルやトレイルなどの環境整備、観光産業を担う人材育成等に取り組んだ。

国内誘客では、県公式観光サイト「クロスロードふくおか」の利便性の向上、県内周遊を目的とした宿泊助成、修学旅行需要の回復に向けたキャンペーン、広域観光エリアのキャンペーン等、海外誘客では、県観光情報多言語サイト「Visit Fukuoka」（英、中、韓、台）の利便性向上及び市場別のＳＮＳによる観光情報の発信、豪州におけるレップ事業、韓国、台湾での当連盟主催の観光商談会や現地観光展への参加、海外の旅行事業者やメディアの招請等の誘致活動に取り組んだ。

当連盟の体制強化として、外部人材によるインバウンドのマーケティング戦略や地域と一体となった戦略に基づく情報発信・プロモーション活動のコーチングを受けた。

１ 観光地域づくり支援

（１）地域連携の促進

①観光資源の開発

ア 市町村連携による観光素材の開発支援事業

福岡・大分デスティネーションキャンペーンに合わせて、複数市町村の関係者が連携して実施する地域の魅力を活かした体験プログラムの開発や観光ルート開発等の取り組みへの支援を行った。

○「立花宗茂と闇千代」ＮＨＫ大河ドラマ招致委員会（柳川市、大牟田市、みやま市等）

ＤＣ向けの立花宗茂と闇千代ゆかりの地を巡るバスツアーの造成及びパンフレットの作成

・「立花宗茂と闇千代」ＮＨＫ大河ドラマ招致柳川委員会

ＤＣ期間中のスタンプラリーによる柳川市内を回遊させる仕組みづくり

・柳川観光活性化協議会

ＤＣ期間中の「御城印」による宗茂と闇千代ゆかりの地を巡る仕組みづくり

・（公財）立花財団 立花資料館

宗茂と闇千代ゆかりの地を探访する参加型のオンラインツアーの開催

○筑後シェアサイクル協議会（八女市、筑後市、柳川市）

3市によるシェアサイクル事業の展開及びプロモーション

- ・（一財）FM八女、（一社）筑後市観光協会、（一社）柳川市観光協会
シェアサイクルシステムの導入

○平成筑豊鉄道沿線サイクルトレインを活用した観光振興検討会

（直方市、行橋市、赤村、みやこ町、平成筑豊鉄道等）

福岡県サイクルツーリズム推進協議会デジタルマップの活用

- ・平成筑豊鉄道

サイクルトレインの導入（令和6年3月20日より実施）と予約システムの開発等

○福岡「森と文化」推進協議会（豊前市、篠栗町等）

森林セラピーを活用し「森の文化」をフックに2つの市町で共通する「祈り」をテーマとした商品造成及びパンフレットの作成

○日本遺産「古代日本の『西の都』」観光活性化検討会

（太宰府市、筑紫野市、春日市、大野城市、那珂川市、宇美町等）

地域の解説員やガイド等を対象としたガイド人材育成の実施

イ 新たな観光地域づくり推進事業（筑前玄海エリア）

新たな観光地づくり事業で設定した広域観光エリアのうち「筑前玄海エリア」において県内で最大の水揚げ量を誇る「イカ」にスポットをあて、地域の飲食店と協議のうえで新たなイカグルメの開発を行った。また、イカフェアは、地元の協議体である「筑前玄海地域観光推進協議会」が主催し、連盟は側面支援することで、地域の自走化へ向けて、大きく前進した。

○『イカ王国』筑前玄海イカフェア

開催期間 令和5年10月1日～11月30日

参加店舗 30店舗

ウ 地域連携支援事業

地域連携、地域マーケティング、デジタル情報発信等要請のあった地域に専門家を派遣し、業務支援を行った。

エ サイクルツーリズム推進事業（福岡県サイクルツーリズム推進協議会運営）

サイクルツーリズムを本県の資源の一つとして、新たな観光客を呼び込み、県内の周遊を促進することにより、各地域で観光消費の拡大を目指すことを目的とし、市町村独自ルートの旅行商品化に向けて磨き上げ、PR用サイクルマップの制作、デジタルマップの整備、サイクルモード大阪出展等を行った。

○福岡県サイクルツーリズム推進協議会

開催日／会場 令和5年 5月18日 総会／千代合同庁舎

8月17日 第1回部会／中小企業振興センター

11月27日 第2回部会／オンライン

令和6年 3月25日 報告会／吉塚合同庁舎

○インバウンドモニターライド（ルート磨き上げ）

開催日／市町村 令和5年10月13日 豊前市
11月9日 筑後市
11月20日 宗像市
12月5日 芦屋町
令和6年 2月27日 那珂川市
3月14日 小郡市
3月21日 香春町

○デジタルマップの活用

福10ルート+13ルート・309スポットを掲載し、5市町村がデジタルマップを活用してイベントを行った。

○サイクルモード大阪出展

開催期間 令和6年3月2日～3日
会 場 万博記念公園（大阪市）
来場者数 13,614人

オ トレイルツーリズム推進事業

英彦山を詣でる文化に焦点をあて、修験道プログラム等を取入れたトレイルコースを難易度別にトレイルツアーとして旅行商品を造成し誘客を行った。

○個人・グループ向けプラン

- ・どっぶり宝満山～修験道の秘所を巡る冒険コース～
- ・嘉穂アルプス縦走～古都秋月から小石原へ 峰入り古道をつなぐ～
- ・砺石峠から岳滅鬼山コース～英彦山峰入り古道のクライマックス～
- ・銅の鳥居から奉幣殿、そして英彦山へ～日本三大修験、英彦山の頂へ～

○団体向けプラン

- ・日本三大修験道・英彦山～神仏習合の歴史を感じる山伏体験～

カ 九州オルレ事業

九州オルレの福岡県コース（6コース）の維持管理やブランド価値を守りながら観光客誘致を図るために、韓国・済州オルレの関係者等を招請しコースの状態確認や改善等に繋げるとともに福岡県コースのリーフレットデータの作成を行った。また、済州オルレの現地研修会、済州オルレウォーキングフェスティバルに参加し統一ブランドでの誘客促進を行った。

○済州オルレ研修会

開催日 令和5年6月13日～16日
会 場 韓国西帰浦市済州オルレ旅行社センター

○済州オルレウォーキングフェスティバル

開催日 令和5年11月2日～4日
開催場所 済州特別自治道

(2) 観光基盤の整備

①人材育成

ア 地域観光コンシェルジュ育成事業

自律的かつ継続的な観光地経営ができるノウハウの取得・活用を図ることを目的として、観光コンシェルジュ育成セミナーを開催。学んだことをすぐに活かせる、参加者自身のスキルアップにつながる研修を行った

○育成セミナー 全5回 13:00～16:00

開催日/場所/研修タイトル

令和5年 8月 7日 アクロス福岡 観光地域づくり組織の役割を理解する

9月13日 よかもんひろば！ デジタルマーケティング実務

10月11日 よかもんひろば！ 観光データの読み方

11月10日 よかもんひろば！ ITを活用した業務効率化

12月13日 よかもんひろば！ 稼ぐ地域・事業者を育てる為に
やるべきこと

講 師 (一社)みなみあそ観光局戦略統括マネージャー 久保 堯之 氏

○オンライン研修会/eラーニング

公 開 日 8月26日、10月7日

内 容 ・熊本県・南小国町の人材還流の仕組みと人材関連で抑えておきたい制度面
について

・補助金の申請書で気をつけるべきこと

講 師 (株)SMO南小国未来づくり事業部長 安部 千尋 氏

(株)LOCAL ROOTS 代表取締役 檜垣 敏 氏

○先進地視察研修

南阿蘇村と南小国町・黒川温泉を現地視察し、取り組みや問題解決方法などを自地域に当てはめた際の懸念点などを質疑応答も踏まえて意見交換を行った。

実 施 日 令和6年1月16日

視 察 先 南阿蘇村 観光案内所・アクティビティセンター/リモート案内やショッピングカードの活用・ガチャなどの視察、レンタサイクル・その他レンタル品の維持管理方法等

南小国町 黒川温泉 温泉を街歩きしながら、環境・景観整備を踏まえた観光の取り組み、インバウンドの現状やその対策

参 加 者 15名

○英会話のスキルアップを図る取り組み

スタディサブリ英会話セットプランの提供を行った。

提供団体 ひかりのみちDMO福津、FM八女、篠栗町観光協会

イ 観光ボランティアガイドリーダー育成事業

「ストーリーを伝える」ことをテーマに、企画ガイドとしてコースを作る際に大切な地域全体としてのストーリーを作る方法、伝える手法について、実際のガイドでもあるワル・マ

ックス氏を招いての研修会を行った。

○実践研修会

開催日／会場 令和5年 7月27日 門司港レトロ観光物産館会議室
7月28日 Z i g Z a g レンタルホール
8月28日 立岩交流センター
9月27日 九州芸文館
9月28日 よかもんひろば！
10月19日 門司港レトロ観光物産館会議室
10月20日 宗像ユリックス
11月 9日 よかもんひろば！

講 師 南小国町訪日外国人観光客向け着地型旅行商品開発担当
ワル・マックス氏

○観光ボランティアガイド初心者向け研修会

各団体のガイド未経験の会員、これからガイドをやってみたいという一般の方まで対象とした研修会を行った。

実施日 令和5年10月26日

会 場 九州芸文館

講 師 阿蘇ユネスコ世界ジオパーク事務局次長 渡邊 裕介 氏

○視察研修

話題の場所のガイドを体験する機会として、7月に全線開通した南阿蘇鉄道及び熊本地震震災ミュージアムK I O K U・震災伝承館等の視察研修を行った。

実施日 令和5年10月6日

視 察 先 南阿蘇鉄道 車掌による車内での沿線ガイド

震災ミュージアムK I O K U 現地ボランティアガイドによる館内案内

震災伝承館 轍（わだち）の定点ガイドによる館内案内

参 加 者 76名

○全体研修会

実施日 令和6年2月9日

会 場 福岡県庁講堂

講 師 （一社）みなみあそ観光局戦略統括マネージャー 久保 堯之 氏

参 加 者 105名

ウ 観光事業従事者研修会

地域や観光産業の現場で起きている深刻な人手不足や外国語対応、デジタル対応の遅れといった様々な課題に対応するため、デスティネーションマーケティング、DMO、地域ブランド研究の専門家による講演会を実施した。

開催日 令和6年3月4日

会 場 アクロス福岡 大会議室

講演内容 観光×地域経済成功の鍵を探る 稼げる観光地経営

講 師 米国セントラルフロリダ大学 ローゼン・ホスピタリティ経営学部
テニユア付准教授 原 忠之 氏
参 加 者 69名

エ 外部人材の登用による中核人材の確保と育成（訪日外国人旅行者周遊促進事業）

連盟の体制強化を目的に、外部人材によるインバウンドマーケティング戦略についてデータを基にした傾向やターゲットに基づく方針等についてのコーチングを受けた。

実施日／内容	令和5年	5月16日	インバウンド戦略会議・講演
		7月21日	” MTG
		8月28日	” MTG
		11月1日	” MTG
	令和6年	2月15日	インバウンドマーケティング勉強会基礎編
		2月16日	” 応用編

会 場 よかもんひろば多目的ホール他

外部人材 じゃらんリサーチセンター 研究員 松本 百加里 氏

②地域団体助成

ア 県内4地区観光協議会への助成

福岡、北九州、筑豊、筑後の4地区観光協議会が地域の観光振興を目的として実施するプロモーションを中心とする事業に対して助成を行った。

イ 県観光温泉地協会への助成

県内観光温泉地の振興とプロモーションに取り組む福岡県観光温泉地協会への助成を行った。

ウ 地域の魅力を磨く観光地域づくりモデル事業

魅力ある観光資源の創出に取組む地域に対し、県と共同で「地域の魅力を磨く観光地づくりモデル事業」を実施し、採択事業に対しては現地にて助言等による観光資源の磨き上げの支援を行った。

○継続事業

- ・ 福津市 福津市町おこしセンター「津屋崎千軒なごみ」を拠点とした、津屋崎千軒らしさを活かす体験プログラム造成事業
- ・ 朝倉市 自然体験型観光コンテンツ「川育」の開発及びプロモーション事業
- ・ 広川町 未来へ繋がる広川町「黄金の太原のイチョウ」磨き上げ事業

○令和5年度新規採択事業

- ・ 宗像市 筑前玄海イカ王国 イカフェア
- ・ みやま市 Miyama Post in TAIWAN プロジェクト
～訪日台湾人向けのインスタグラムの開設とみやま滞在ツアーの実施～
- ・ 篠栗町 「すぐ行ける森」で「こころとカラダを整える」

～埋もれている篠栗独自文化の価値の機会創出～

・岡垣町 岡垣ほろ酔いバスツアー

2 観光誘客促進

(1) 観光情報の発信

①国内向けデジタル情報発信

ア 「クロスロードふくおか」運営・機能強化事業

福岡県観光情報の公式Webサイトである「クロスロードふくおか」の情報発信機能の強化を図るとともに別ドメイン（過去に作成した特設Webサイト等）を「クロスロードふくおか」のドメイン配下に統合。ドメインを一元化することにより利便性の向上を行った。

イ サイクルツーリズム情報発信事業

サイクルツーリズムのニーズの高まりを受け、本県のサイクリスト向け観光資源を連盟が運営するSNS（Facebook／Instagram）を活用し、本県サイクルルート等についてサイクリスト目線で情報発信を行った。

○Facebook

情報発信数：176件 フォロワー数：1,870人（前年度比+52人）

○Instagram

情報発信数：176件 フォロワー数：6,540人（前年度比+180人）

ウ トレイルツーリズム情報発信事業

トレイルツーリズム促進事業でルート整備を行った英彦山巡礼路を活用したデジタルバッジによるスタンプラリーを実施するとともに、英彦山特設Webサイトに記事を投稿し情報発信を行った。

○デジタルスタンプラリー参加者数：1,696人

②海外向けデジタル情報発信

ア 「Visit Fukuoka」運営事業

県観光情報多言語サイトである「Visit Fukuoka」の情報発信機能の強化を図るとともに別ドメイン（過去に作成した特設Webサイト等）を「クロスロードふくおか」のドメイン配下に統合。日本語と多言語間のデータ連携を行い、利便性の向上を行った。

イ 台湾向け情報発信事業

台湾市場をターゲットに連盟で運営している台湾向け公式SNSアカウントにより、本県の旬な観光情報を発信するとともに、ユーザーと双方向のコミュニケーションをとることで本県の認知度向上による誘客促進も行った。

投稿数：167件

フォロワー数：54,209人（前年度比+11,271人）

ウ 中国向け情報発信事業

中国国内において、訪日旅行の主な旅行情報源とされる「We Chat（微信）」及び「Weibo（微博）」を活用した本県観光情報の発信を行った。

○We Chat（微信）

情報発信数 109件 フォロワー数：21,223人（前年度比＋4,257人）

○Weibo（微博）

情報発信数 141件 フォロワー数：19,369人（前年度比＋13,651人）

エ 福岡県WEB観光案内所の運営事業

WEB観光案内所として、英語のFacebook、Instagramアカウントの運用及び英語圏を中心としたターゲティング広告を行い、各国のユーザーに対して本県の観光情報の発信を行った。

○Facebook 投稿数208件 リーチ数 10,444,387

獲得フォロワー数 28,395人（累計：316,490人）

○Instagram 投稿数208件 リーチ数 4,826,493

獲得フォロワー数 5,462人（累計：11,240人）

○DM問合せ件数 4,374（前年度比＋98件）

オ ピクトグラム活用促進事業

訪日旅行者を対象とした本県の宿泊、レストラン等の情報を発信しているWebサイト「トラベラーフレンドリー」を福岡県観光情報多言語サイト「Visit Fukuoka」に移行し、情報提供の一元化を図った。

カ Visit Fukuokaの改修（飲食店受入態勢整備）

福岡県観光情報多言語サイト「Visit Fukuoka」において、本県を訪れる外国人旅行客に向けた多様な食文化に対応した飲食店の情報発信を行った。

③情報誌発行

ア 「クロスロードふくおか」の発行

本県の観光情報（観光スポット、四季の祭・イベント等）を掲載した情報誌「クロスロードふくおか」を季刊号として発行し、マスコミ関係、旅行会社、観光関係機関等への情報提供を行った。

発行部数 60,000部（各季15,000部）

- ・2023年夏号特集 夏にとびだせ！！
- ・2023年秋号特集 絶景を訪ねる
- ・2023年冬号特集 「あったか」を巡る旅
- ・2024年春号特集 わくわくの春！

イ よかもんFUKUOKAの発行事業

福岡県観光案内パンフレットとして幅広く活用するため、観光スポット、アウトドアスポット、交通案内等を網羅した観光パンフレットを改修し発行した。

発行部数 17,000部

④マスメディア等への情報発信

新聞、ラジオ、雑誌等に対し観光情報の提供・協力を行い、観光客の誘致を図った。

○西日本新聞「寄り道逸品」

○南日本放送 モーニングスマイル

○月刊 九州王国

○CREA WEB

(2) 国内誘客

①国内向けプロモーション

ア 県内宿泊助成事業

閑散期における旅行需要の喚起及び休日や都市部に集中する宿泊者の分散化を図るため、閑散期の平日における県内宿泊施設に宿泊した旅行者及び宿泊を伴う旅行商品実績に対し助成を行った。

実施期間 令和5年12月1日～令和6年2月16日

宿泊助成 83,725人泊

内訳：宿泊施設直接予約 23,383人泊

旅行会社予約 3,748人泊

OTA予約 56,594人泊

イ 修学旅行の需要回復キャンペーン

修学旅行の回復のため本県を行程に組み入れた県内外からの修学旅行実施に対し経費の一部であるバス助成を実施するとともに学校関係者及び旅行会社を対象とした本県のSDGs・ワンヘルス学習に対応した素材を組み込んだモニターツアーを行った。

また、福岡県修学旅行ガイドの内容改修を行うとともにワンヘルス学習に特化したワークブックの作成を行った。

○バス代助成

バス代助成件数：175件

バス代助成台数：676台

○モニターツアー

実施日 令和5年7月25日～26日

被招請者 12名

主な視察先 ワンヘルスの森・四王寺県民の森、まなびのやど福岡、

筑前町立大刀洗平和祈念館、太宰府天満宮、グローバルアリーナ、

グラノ24k（ぶどうの樹）、TOTOミュージアム

○修学旅行ガイドブック

1, 000部
○ワンヘルス学習ワークブック
5, 000部

ウ 九州7県観光素材説明会・相談会

九州観光機構と連携し、本県観光素材・体験プログラムを取入れた旅行商品の造成を促進するため首都圏等の旅行会社とのマッチング形式による相談会を実施しプロモーションを行った。

2024年度上期相談会	令和5年8月22日	東京会場	相談件数	13社
	24日	大阪会場	"	14社
	29日	福岡会場	"	13社
2024年度下期相談会	令和6年3月4日	東京会場	"	14社
	5日	大阪会場	"	14社
	8日	福岡会場	"	13社

エ 九州7県修学旅行説明会・相談会

九州観光機構と連携し、修学旅行誘致を目的に本県の産業、環境、平和学習等の素材及びSDGs素材について学校関係者及び教育旅行を取扱う旅行会社へプロモーションを行った。

令和5年8月2日	名古屋会場	学校・旅行会社等参加者	26名
3日	大阪会場	学校・旅行会社等参加者	37名
21日	東京会場	学校・旅行会社等参加者	32名
28日	広島会場	旅行会社参加者	15名

オ ツーリズムEXPOジャパン出展事業

大阪市で開催されたツーリズムEXPOジャパンにおいて、広域観光エリア（6エリア）の情報発信のため福岡県ブース内に6エリアの特大パネル等を設置した特設ブースを展開しBtoB、BtoC両面から情報発信を行った。

業界日では、24社の旅行会社等と商談を行い、一般日では、6エリアを中心した観光情報の提供及び特産品の試飲・試食によるプロモーションを行った。

開催期間 令和5年10月26日～29日
(業界日26・27日、一般日28・29日)

会場 インテックス大阪

来場者数 148,062人(4日間)

カ 県外プロモーション事業

福岡県大阪事務所と連携し名古屋市開催された第69回名古屋まつりに福岡県ブースを出展し、伝統工芸のワークショップや観光情報の提供によるプロモーションを行った。

開催期間 令和5年10月21日～22日

会場 久屋大通公園

キ 国内誘客キャンペーン

連盟で管理するSNSを活用した観光情報の発信及び観光展等で利用するノベルティ等を購入しプロモーションでの活用を行った。

○Facebook 投稿数28件

○X（旧Twitter） 投稿数202件

ク 観光物産展での観光キャンペーン

福岡県物産振興会と共同で、観光物産展において本県の観光プロモーションを行った。また、来場者への観光パンフレット及びノベルティの協賛も行った。

○東武宇都宮百貨店（栃木県宇都宮市）

期 間 令和5年10月10日～12日

派遣者 連盟職員及び福岡親善大使

○高島屋京都店（京都府京都市）

期 間 令和5年11月26日～28日

派遣者 連盟職員及び福岡親善大使

○大和富山店（富山県富山市）

期 間 令和6年2月20日～22日

派遣者 連盟職員及び福岡親善大使

○福屋八丁堀本店（広島県広島市）

期 間 令和6年3月27日～28日

派遣者 連盟職員及び福岡親善大使

○観光パンフレット・ノベルティ協賛

ながの東急百貨店、東武百貨店船橋店

ケ 広域観光エリアプロモーション事業

新たな観光地域づくり事業で設定した6エリアのプロモーションとして、以下の事業を行った。

（ア）体験プログラムの販売促進

オンラインでの旅行販売サイト大手である「じゃらん」に、本県体験プログラムを販売する特集ページを掲載し、新たな観光地域づくり事業で設定した6エリアの体験プログラムの販売を行った。また、各エリアの体験記事掲載による販売の強化も行った。

掲載体験プログラム数：109プラン＋13体験記事

（内訳）

筑前玄海エリア 31プラン

八女・筑後・広川エリア 13プラン＋1体験記事

久留米・うきは・朝倉エリア 40プラン

飯塚・嘉麻・桂川エリア 8プラン＋4体験記事

京築エリア 11プラン＋4体験記事

(イ) SNS情報発信

新たな観光地域づくり事業で設定した6エリアのプロモーションとして、SNSを活用した情報発信及び広告発信を行った。またフォトコンテストを実施しユーザー参加型のプロモーションを行った。

SNS広告 Facebook／Instagram

インプレッション数 1,750,379

情報発信数 326回 FB／Insta：各119回

X（旧Twitter）88回

フォトコンテスト 275投稿

(ウ) 旅行会社招請

新たな観光地域づくりで設定した6エリアのテーマを軸にDCに向けての旅行商品造成を促す目的で首都圏、関西圏等の旅行会社を対象とした招請事業を行った。また、各エリアの観光事業者旅行商品化に向けた意見交換も行った。

○八女・筑後・広川エリア（クラフトのまち）

実施日 令和5年9月8日、9日

被招請者 10名（JTB、日本旅行、西鉄旅行、第一観光、ジャルパック等）

主な視察先 鹿田室礼、旧大内邸、八女福島白壁の街並み（横町町家交流館、うなぎの寝床、このみ園）、立花ワイン、恋木神社、坂田織物等

商品造成 2社3ツアー（JTB、日本旅行）

○久留米・うきは・朝倉エリア（ヘルス＆ビューティーのまち）

実施日 令和5年9月15日、16日

被招請者 13名（JTB、近畿日本ツーリスト、クラブツーリズム、日本旅行、南海国際旅行、西鉄旅行、第一観光等）

主な視察先 巨峰ワイン、紅乙女酒造、白壁の街並み、道の駅うきは、うきは稲荷神社、フェアフィールド・バイ・マリオット福岡うきは、藤井養蜂場、林檎と葡萄の樹等

商品造成 7社8ツアー（令和6年4月以降販売予定を含む）

（近畿日本ツーリスト、クラブツーリズム、日本旅行、西鉄旅行、アドツーリスト等）

○筑前玄海エリア（イカのまち）

実施日 令和5年9月29日、30日

被招請者 6名（東武トップツアーズ、アドツーリスト、エーエスエー、フジ物産等）

主な視察先 宗像大社、カナディアンキャンプ（乗馬体験）、空と海、津屋崎千軒なごみ、宮地嶽神社、玄海横丁、道の駅むなかた、芦屋釜の里、ぶどうの樹、岡垣フルーツライド、コガボーン等

商品造成 3社3ツアー（近畿日本ツーリスト、日本旅行、アドツーリスト）

○京築エリア（神楽の里「鬼すごい京築」）

実施日 令和5年10月6日、7日

被招請者 10名（JTB、日本旅行、JTBガイアレック、西鉄旅行、
西日本新聞旅行等）

主な視察先 みやこ町サイクリングツアー、道の駅しんよしとみ、神楽鑑賞、メタセ
の杜、長井浜公園クラブハウス、ゆいきらら等

商品造成 2社2ツアー（西日本新聞旅行、九州トラベルサービス）

○日田彦山線沿線エリア（ものづくりと修験道の文化が息づくまち）

実施日 令和5年10月13日、14日

被招請者 10名（日本航空、日本旅行、JTBガイアレック、南海国際旅行、
西鉄旅行、西日本新聞旅行等）

主な視察先 HIKOSAN GARDEN CAMP、BRT ひこぼしライン、ワンヘルスの森フォレス
トアドベンチャー・SOEDA、添田町歴史民俗資料館、陶芸体験、小石原
焼伝統産業会館等

商品造成 2社2ツアー（日本旅行、西日本新聞旅行）

○飯塚・嘉麻・桂川エリア（エネルギーの源があるまち）

実施日 令和5年10月20日、21日

被招請者 8名（JTB、日本旅行、日本ツアーサービス、ベツトラ等）

主な視察先 カホアルペ、鮭の孵化場見学、Hygge体験、大里酒造、ノガミファ
ーム、ザ・リトリート、瑞穂菊酒造、もりもと牧場、旧伊藤伝右衛門邸
等

商品造成 2社2ツアー（JTB、日本旅行）

（3）海外誘客

①海外向けプロモーション

ア 旅行事業者・メディアの招請事業

（ア）韓国

○日韓合同バリアフリーコンテンツ作成事業

障がい者当事者（韓国人）を招請。福岡県内を旅行し、旅行の様子を動画で撮影・編集
してYouTube等への公開を行った。

実施日 令和5年6月28日～7月2日

被招請者 6名

（イ）台湾

○台湾訪日教育旅行促進事業

台湾からの教育旅行誘致を目的として、日本政府観光局が主催する国内視察FAM
トリップを活用し、台湾の教育旅行関係者に本県の教育旅行コンテンツ等を紹介するF
AMツアーを行った。

また、国際交流に関心のある学校視察も行い、教育旅行先としての本県の認知度向上に努めた。

実施日 令和5年10月17日～21日

被招請者 8名

視察先 東峰村、柳川掘割巡り、柳川高校等

○台湾旅行会社招請事業

台湾からの誘客促進を目的に現地旅行会社の企画担当者を招請し旅行商品造成を促した。

実施日 令和6年2月21日～24日

被招請者 4名

視察先 宗像ビーチ乗馬、玄海いちご狩り農園、THE OUTLETS KITAKYUSHU、小倉城、関門海峡ミュージアム、三宜楼、ことこと列車、上野焼、BOSS EZO FUKUOKA 等

(ウ) 欧州・米・豪

○ハワイアン航空 旅行会社招請事業（F I A C、長崎県、大分県連携事業）

米国本土をはじめとした欧米豪市場の高付加価値旅行者層の取り込みを見据え、直行便のあるハワイからハワイアン航空の協力のもとに旅行会社を招請し、旅行商品の企画・造成・販売による本県への誘客を促した。

実施日 令和5年11月29日～12月4日

被招請者 5名

視察先 許斐本家、NIPPONIA HOTEL 八女福島、TOTOミュージアム等

○ナショナルジオグラフィックジャーナリスト招請事業（佐賀県、長崎県連携事業）

ナショナルジオグラフィックに記事提供する記者を招請し、シュガーロードをテーマにスポットを視察。「ナショナルジオグラフィックトラベラー」の日本特集において記事掲載を行った。

実施日 令和5年6月9日、10日

被招請者 1名

視察先 常盤橋（長崎街道起点）、長崎街道小屋瀬宿記念館等

○欧州有力ジャーナリスト招請事業

N Yタイムズに福岡県の記事寄稿実績のあるスウェーデン人ジャーナリストを招請し、観光スポットを視察。寄稿記事の作成及び今後の欧州へのプロモーションについての助言を求めた。

実施日 令和5年12月19日～22日

被招請者 1名

視察先 ザ・リッツ・カールトン福岡、竈門神社、太宰府天満宮、御花、中村人形（博多人形工房）等

イ 旅行博、商談会等への参加事業

(ア) 韓国

○ソウルトラベルショー2023への観光情報提供

韓国で最も活気のある旅行展示会の会場で配布するパンフレット及びノベルティを送付し本県の観光情報の提供を行った。

開催日 令和5年10月13日～15日

(イ) 台湾

○高雄市旅行公会国際旅展（KTF）出展

高雄市で開催される旅行博に出展し、直行便の再開をきっかけとした本県への来訪を促すため観光プロモーションを行った。

開催日 令和5年6月2日～5日

会場 高雄展覽館南館

来場者数 289,414人

○JNTO訪日教育旅行現地相談会

台北市及び高雄市で開催されたJNTO主催の訪日教育旅行現地相談会に参加し、台湾の学校関係者及び旅行会社に対し本県の教育旅行素材のPRを行った。

開催日 令和5年6月12日、13日

会場 シェラトングランドホテル台北（12日）

高雄マリオットホテル（13日）

(ウ) 東南アジア

○OMATTA フェアへの観光情報提供（マレーシア）

会場で配布するパンフレット及びノベルティを送付し情報提供を行った。

開催期間 令和5年9月1日～3日

(エ) 欧州・豪州

○北部九州英国プロモーション（佐賀県、長崎県連携事業）

英国最大の旅行博覧会であるWTMにブース出展し、BtoB向けの情報提供及びジャパンセミナーでの観光プロモーションを行った。

開催日 令和5年11月6日～8日 WTM

11月7日 ジャパンセミナー

会場 WTM: ExCeL London

ジャパンセミナー: PARK ROW

○北部九州北欧プロモーション（佐賀県、長崎県、大分県連携事業）

北欧最大の旅行博覧会であるMATKAに北部九州でブース出展し、BtoB及びBtoC向けに新規観光コンテンツ等のプロモーションを行った。

開催日 令和6年1月18日～22日

会場 Messukeskus Helsinki

来場者数 約5万人

○豪州における九州プロモーション（佐賀県・長崎県・大分県・宮崎県連携事業）

ブリスベンとシドニーにおいて現地旅行会社向けのセミナーを開催し、モデルコースの紹介と旅行商品の販売に繋がる観光コンテンツの紹介等を行った。

開催日 令和6年1月30日、2月1日

会場 YOKO DINING（30日、ブリスベン）

SAKE THE ROCKS（1日、シドニー）

○JAPAN ROADSHOW

シドニーとパースにおいてJNTO主催の現地商談会へ参加し、本県の観光プロモーションを行った。

開催日 令和6年2月5日、7日

会場 Swissotel Hotel（5日、シドニー）

Hyatt Regency Perth（7日、パース）

（オ）その他

○VISIT JAPAN トラベル&MICEマート（VJTM）

VISIT JAPAN重点市場を中心に全世界からのバイヤーが参加するBtoB商談会に参加し本県のプロモーションを行った。

開催日 令和5年10月26日～28日

会場 インテックス大阪

商談件数 31社

○在京ランド社セールス

東京にあるランドオペレーター8社に訪問し、インバウンドの今後の動向等について意見交換を行った。

実施日：令和6年3月27日～29日

○国外出展事業（サイクルツーリズムプロモーション事業）

本県のサイクルツーリズム情報（福10ルート、地域のモデルコース）やマップを掲載したパンフレットを作成し情報発信を行った。

ウ 豪州レップ事業

豪州市場におけるBtoB、BtoCに向けたプロモーション事業を現地に事務所を構える日系の旅行会社と連携し誘客促進を行った。

○BtoBプロモーションに関する事業

- ・現地旅行会社へのニュースレター配信（4回）
- ・福岡県を軸としたパッケージツアー造成（4コース）
- ・現地旅行会社向けにオンラインにて情報発信（パッケージツアーの紹介等）（4回）
- ・JNTO主催の商談会等への参加（4回）

○BtoCプロモーションに関する事業

○BtoC向けにオンラインにて情報発信（パッケージツアーの紹介等）（4回）

○BtoC向けにニュースレター配信（4回）

○現地メディアへの記事掲載（２回）、ＥＤＭ配信（１回）、ＳＮＳ投稿（２回）

オ 富裕層向け高付加価値・高単価旅行商品造成事業

○福岡県オーストラリアニューサウスウェールズ州訪問団における観光セミナー

県主催の現地観光セミナーに参加し現地旅行会社及び現地メディアとの交流を行った。

開催日 令和５年８月８日

会場 Kuro Bar&dining

○ＩＬＴＭカンヌ&パリ現地セミナー

フランスにおいて高付加価値な旅行商品を対象とした展示会及び現地旅行会社を対象としたセミナーに参加し、現地旅行会社との交流を行った。

開催日 令和５年１２月４日～７日 ＩＬＴＭカンヌ

８日 現地セミナー

会場 ＩＬＴＭ：Palais des Festivals et des Congres

現地セミナー：Hotel Square Louvois

カ ＤＣを活用したインバウンドプロモーション

（ア）韓国

○九州オルレ福岡県内コース韓国語リーフレット作成及びコース視察のための招請事業

九州オルレとの統一したイメージのもと韓国内にコースをＰＲするために県内オルレコースを紹介するリーフレットの作成及び済州オルレ関係者の招請を行った。

実施日 令和６年２月１２日～１７日

被招請者 ２名

視察先 福岡・新宮コース、宗像・大島コース、筑豊・香春コース、八女コース、みやま・清水コース、久留米・高良山コース

○日韓交流おまつり２０２３ in Seoulへの参加

ソウルの大型複合施設であるＣＯＥＸで開催された日韓交流イベントにブース出展し本県の観光プロモーションを行った。

開催日 令和５年１０月２２日

会場 ＣＯＥＸ展示場Ｄホール

来場者数 約５万６千人

○福岡県韓国現地観光商談会

釜山広域市において連盟参加会員と現地旅行会社との商談会を行った。

開催日 令和５年６月２８日

会場 アスティホテル釜山 グランドボールルーム

福岡県側参加者数 １１社 ２５名

現地旅行会社者数 ２３社 ３５名

○ＪＮＴＯソウル商談会

ソウルにて開催されたＪＮＴＯ主催の商談会において現地旅行会社との商談を行った。

開催日 令和５年１１月７日

会 場 ロッテホテルソウル サファイアボールルーム

(イ) 中国

○上海旅行会社招請事業（大分県連携事業）

ツーリズムおおいたと連携で福岡・大分の旅行商品造成に意欲的な上海の旅行会社を招請し、旅行商品造成を促した。

実 施 日 令和5年11月16日、17日

被招請者 5名

視 察 先 門司港レトロ地区、THE OUTLETS KITAKYUSHU、南蔵院、福岡タワー、ザ・リッツ・カールトン福岡等

○中国インフルエンサー招請事業

春秋航空及び福岡国際空港との連携で中国のインフルエンサーを招請し、県内の観光スポットを撮影。抖音／Douyin（ユーザー数8億人を超える中国版TikTok）にてショート動画の配信を行った。

実 施 日 令和5年10月14日～18日

被招請者 2名

撮 影 先 柳川掘割巡り、杜の離れ、フェアフィールド・バイ・マリオット福岡うきは、宗像ビーチ乗馬体験、宮地嶽神社等

○上海現地セミナーの開催（佐賀県、長崎県、大分県連携事業）

上海の現地旅行会社を招待し、現地にて北部九州セミナーを開催。各県の最新スポットに関するプレゼンテーションを実施し、団体ビザ解禁後の商品造成を見据えた旅行会社との関係構築を行った。

開 催 日 令和5年8月2日

会 場 上海アンバサダーホテル 天地庁

中国側招待者数 40社 56名

○上海旅游産業博覧会（TPS）

上海最大の旅行博である上海TPSにブース出展し、本県の観光PRを行った。

開 催 日 令和5年5月29日～6月1日

会 場 国家展示コンベンションセンター

来場者数 約40万人

○ジャパンブランド上海出展

上海の大型ショッピングセンターで開催されたジャパンブランドに出展し、本県の観光PRを行った。

開 催 日 令和6年1月13日～14日

会 場 ららぽーと上海金橋

来場者数 約6万人

○上海旅行会社セミナー（大分県連携事業）

11月にツーリズムおおいたと連携で行った上海旅行会社招請事業に参加した旅行会社の担当者から実際に体験した内容等を不参加の旅行会社に対し説明するセミナーを行

った。

開催日 令和5年12月6日

会場 ルネッサンス上海中山公園

参加者 15社30名

(ウ) 香港

○YouTuber招請事業

香港人のYouTuberを招請し、撮影を実施。YouTubeに2本の動画配信を行った。

実施日 令和5年11月27日～29日

被招請者 1名

撮影先 門司港レトロ地区、太宰府天満宮、田主丸農泊、BOSS EZO FUKUOKA、ららぽーと福岡等

○香港ブックフェア2023出展

香港最大のBtoC向け観光見本市においてJNTOが展開する「ジャパンパビリオン」内に福岡・佐賀・長崎・熊本県と合同でブース出展し北部九州広域での誘客プロモーションを行った。

開催日 令和5年7月19日～25日

会場 香港コンベンション&エキシビジョンセンター

来場者数 約100万人

(エ) 台湾

○台湾TV番組「食尚玩家」撮影事業（長崎県連携事業）

台湾の人気旅行番組のクルーを招請し、福岡県と長崎県の撮影を実施。制作された番組はTV放送だけではなく同番組のYouTubeチャンネル及び出演者のSNSでも発信を行った。

実施日 令和5年12月18日～19日

撮影先 糸島牡蠣小屋、BOSS EZO FUKUOKA、長浜の屋台等

○台湾国際旅行博（ITF）出展

台湾最大の旅行博である台湾国際旅行博（ITF）に九州観光機構と連携で九州合同ブースを出展し、本県の観光プロモーションを行った。

開催日 令和5年11月3日～6日

会場 南港展覽館（台北市）

来場者数 344, 475人

○台湾現地商談会

台湾国際旅行博（ITF）での商品造成を前提とした九州観光機構主催の商談会に参加し、台湾の旅行会社向けに県内コンテンツのPRを行った。

開催日 令和5年7月26日

会場 ホテルリージェント台北

○福岡県台湾現地観光商談会

台北市において連盟参加会員と現地旅行会社との商談会を行った。

開 催 日 令和5年6月6日

会 場 シェラトングランドホテル台北

福岡県側参加者数 12社 20名

現地旅行会社者数 82社 102名

○福岡県インセンティブ台湾現地観光商談会

コロナ収束によるMICE団体の需要が見込まれる台湾のインセンティブツアーの需要拡大を見据え、連盟参加会員と現地旅行会社との商談会を行った。

開 催 日 令和5年11月9日

会 場 ソラリア西鉄ホテル台北西門

福岡県側参加者数 13社 17名

現地旅行会社者数 23社 31名

(オ) 東南アジア

○シンガポール旅行会社招請事業（大分県連携事業）

富裕層を取扱う旅行会社を招請し、福岡・大分両県の観光コンテンツを視察。富裕層顧客への両県観光情報の提供及び旅行商品造成による誘客を促した。

実 施 日 令和5年9月12日～16日

被招請者 4名

視 察 先 フルトリエ中村果樹園、柳川掘割巡り、ザ・リッツ・カールトン福岡等

○FITフェア出展（タイ）

市町村及び福岡県バンコク事務所と連携し本県の観光ブースを出展。タイ市場に向けた観光コンテンツの情報提供及び現地旅行会社とのネットワーキングに参加し、本県の認知度向上及び商品造成に繋がるプロモーションを行った。

開 催 日 令和5年10月6日～8日

会 場 サイアムパラゴン（バンコク）

来場者数 46,835人

○ASEAN現地旅行会社向けセミナー商談会（タイ）

九州観光機構と連携でタイ現地旅行会社・ランドオペレーター及び現地メディアに対し、セミナー形式での最新観光情報の提供と個別ブースでの商談会を実施。本県を含む九州向け旅行商品の造成促進とPRを行った。

開 催 日 令和5年10月4日

会 場 クラウンプラザバンコクルンピニパーク

○Japan Travel Fair出展（シンガポール）

シンガポール最大級の日本を紹介する旅行博に市町村と連携でブースを出展し、本県の観光情報提供等のプロモーションを行った。

開 催 日 令和5年9月29日～10月1日

会 場 Marina Square

○ASEAN現地旅行会社向けセミナー商談会（シンガポール）

九州観光機構と連携でシンガポール現地旅行会社・ランドオペレーター及び現地メディアに対し、セミナー形式での最新観光情報の提供と個別ブースでの商談会を実施。本

県を含む九州向け旅行商品の造成促進とPRを行った。

開催日 令和5年11月14日

会場 ペニンシュラエクセルシオールホテル

○ASEAN現地旅行会社向けセミナー商談会（ベトナム）

九州観光機構と連携でホーチミンとハノイ現地旅行会社・ランドオペレーター及び現地メディアに対し、セミナー形式での最新観光情報の提供と個別ブースでの商談会を実施。本県を含む九州向け旅行商品の造成促進とPRを行った。

開催日 令和5年8月22日・24日

会場 ロッテホテルサイゴン（22日、ホーチミン市）
メリアハノイ（24日、ハノイ市）

3 観光関連事業に対する協力

（1）福岡県の物産と観光展

- ①福岡物産展（松坂屋名古屋店）
- ②第4回大福岡展（東武宇都宮百貨店）
- ③福岡物産展（京王百貨店新宿店）
- ④第6回福岡物産展（ながの東急百貨店）
- ⑤大九州展（大和香林坊店）
- ⑥第9回大九州展（大和富山店）
- ⑦第25回福岡物産展（東武百貨店船橋店）
- ⑧福岡物産展（高島屋玉川店）
- ⑨せいせき福岡物産展（京王百貨店聖蹟桜ヶ丘店）
- ⑩第21回福岡県の物産展（福屋八丁堀本店）

（2）その他事業の後援・協賛

- ①第62回福岡市民の祭「博多どんたく港まつり」
- ②第77回全国お茶まつり福岡大会
- ③観光相談会「福岡マッチング2024～観光de九州」
- ④第47回福岡県伝統的工芸品展
- ⑤第53回西日本菊花大会
- ⑥令和5年WEB版「福岡検定」
- ⑦FUKUOKA MOBILITY SHOW2023
- ⑧第41回古賀政男記念「大川音楽祭」

4 会議

（1）連盟の総会等

①定時総会

期 日 令和5年6月19日

報告事項 令和4年度事業報告について

令和5年度事業計画及び収支予算について
議決事項 第1号議案 令和4年度収支決算について
第2号議案 理事・監事の選任について

②理事会

第1回

期 日 令和5年5月19日

議決事項 第1号議案 令和4年度事業報告及び決算について
第2号議案 役員候補者の選任について
第3号議案 令和5年度定時総会の開催について
第4号議案 正会員の承認について

第2回

期 日 令和5年6月19日

議決事項 第1号議案 役員の選定について

第3回

期 日 令和6年3月18日

議決事項 第1号議案 令和5年度補正予算（案）について
第2号議案 令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

（2）関係団体の会議への出席

日本観光振興協会総会、九州観光機構総会、福岡県物産振興会総会等

報告事項 令和6年度事業計画及び収支予算について

I 令和6年度の基本方針

1 観光地域づくり支援

広域観光エリアの情報発信拠点の整備を支援し、エリア内の周遊を促進する。全国初となるサイクルツアーのワンストップ案内所を開設し、サイクルツーリズムを推進する。

また、観光産業を支える人材育成のための研修会、県内4地区で取り組む観光プロモーションへの助成等により、地域の観光基盤の充実を図る。

2 観光誘客促進

デジタル情報発信では、国内外の旅行者ニーズや関心事を踏まえたタイムリーな観光情報を発信することで、観光客誘致や周遊促進を図る。

国内向けプロモーションでは、閑散期の平日における県内宿泊に対する助成を行うとともに、本県を旅行行程に組み込んだ修学旅行に対する助成を行うことで、観光需要の喚起と平準化を行う。

海外向けプロモーションでは、日系旅行会社と連携し、英国での本県の認知度向上と旅行商品の造成を促す。また、豪州の訪日旅行を促進するため、現地の学校関係者や教育旅行を取り扱う旅行会社の招聘を行う。

デスティネーションキャンペーンでは、インバウンド向けモデルコースのプロモーションを行う。また、海外の旅行事業者やメディアの招請、旅行博や商談会を行うことで、本県の認知度向上と旅行商品の造成を図る。

3 成果指標

① 必須KPI

指標項目		2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 年 (R5)	2024 年 (R6)	2025 年 (R7)
●旅行消費額 (百万円)	目標	943,180 (-)	952,120 (-)	510,600 (81,900)	752,000 (137,900)	993,400 (193,800)	1,037,000 (195,105)
	実績	323,873 (25,952)	269,191 (-)	551,915 (-)	958,000※1 (259,400※1)		
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	18,038 (4,022)	18,692 (4,348)	12,250 (200)	16,130 (2,030)	20,420 (4,260)	21,730 (4,790)
	実績	10,593 (623)	9,621 (104)	13,994 (606)	20,028※2 (4,737※2)		
●来訪者満足度 (%)	目標	76.0 (-)	78.3 (-)	80.5 (-)	82.8 (-)	85.0 (-)	85.0 (-)
	実績	80.4 (-)	81.5 (-)	87.5 (-)	87.7※3 (-)		
●リピーター率 (%)	目標	60.0 (-)	60.0 (-)	61.0 (-)	62.0 (-)	63.0 (-)	64.0 (-)
	実績	67.1 (-)	72.6 (-)	63.8 (-)	65.9※3 (-)		

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値、-は、目標値未設定及び実績未収集

※2023 年 (R5) より暦年での数値

※1 国内旅行者の10～12月期分は速報値、訪日外国人旅行者は推計値(1～3月期は調査未実施のため算出不可であり、10～12月期は未公表のため、4～6月期及び7～9月期の合算値の2倍で推計)

※2 確定値

※3 2023 年より「福岡県観光客の実態調査」のデータ収集

【出典】

- ・旅行消費額(国内旅行者): 観光庁「旅行・観光消費動向調査」
- ・旅行消費額(訪日外国人旅行者): 観光庁「訪日外国人消費動向調査」
- ・延べ宿泊者数: 観光庁「宿泊旅行統計」
- ・来訪者満足度、リピーター率: 福岡県「観光客の実態調査」

② その他の目標

指標項目		2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 年 (R5)	2024 年 (R6)	2025 年 (R7)
●WEBサイト へのアクセス数 (万セッション)	目標	520 (-)	520 (-)	234 (-)	306 (-)	377 (-)	449 (-)
	実績	146 (-)	163 (-)	260 (45)	355 (50)		
●住民満足度 (%)	目標	- (-)	- (-)	70.0 (-)	70.0 (-)	70.0 (-)	70.0 (-)
	実績	64.5 (-)	59.1 (-)	58.9 (-)	67.5 (-)		

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値、-は、目標値未設定及び実績未収集

【出典】

- ・WEBサイトへのアクセス数: Google Analytics 4
- ・住民満足度: 県政モニターアンケート調査

Ⅱ 事業概要

1 観光地域づくり支援

(1) 地域連携の推進 【 40百万円】

① 観光資源の開発

- ・ 中核拠点整備支援^⑨

新たな観光地域づくり事業で設定した広域観光エリアにおいて、情報発信拠点の整備に対する支援を実施しエリア内の周遊を促進する。

- ・ 「FUKUOKA サイクリングツアー・コンシェルジュ(仮称)」開設^⑨

ワンストップでツアーの企画支援、レンタサイクル、ガイド、サポートカー等の手配機能を有した案内所の開設を行う。

- ・ 新たな観光地域づくり推進事業(広域観光エリア:筑前玄海エリア)

新たな広域観光エリア創出の取組みとして、エリアにおける観光テーマである「イカ」による地域ブランディング等を引き続き支援する。

- ・ サイクル・トレイルツーリズム推進事業

サイクル・トレイルによる観光客の県内周遊と滞在の促進に向けて、地域の取組や課題解決を支援する。

(2) 観光基盤の整備 【 10百万円】

① 人材育成

- ・ 地域観光コンシェルジュ育成事業

観光案内所スタッフなど観光業に携わる人材を対象とした研修会や先進地視察を行う。

- ・ 観光ボランティアガイドリーダー育成事業

ガイドのスキルアップや新たなガイド人材育成のための研修等を実施する。

- ・ 観光事業従事者研修会

広く観光事業従事者、連盟会員を対象として、地域の観光振興を(様々な関係者と共に創ることを)体感する等の研修を行う。

② 地域団体助成

- ・ 県内4地区協議会への助成

県内4地区の観光協議会で取り組むプロモーションや研修会の経費に対する助成を行う。

- ・ 観光地域づくりモデル事業

市町村、観光協会、事業者等で構成された協議会が行う観光素材探しや素材磨きに対して助成を行う。

2 観光誘客促進

(1) 観光情報の発信 【 75百万円】

① 国内向けデジタル情報発信

- ・ クロスロードふくおか運営事業

福岡県観光情報の公式サイト「クロスロードふくおか」では、魅力を向上させるためのコンテンツ拡充や旅行者ニーズに合わせたタイムリーな観光情報の発信を行い、観光客の誘致や周遊促進を図る。

② 海外向けデジタル情報発信

- ・ VISIT FUKUOKA 運営事業

グローバルサイト VISIT FUKUOKA(英、中、韓、台)では、国別の関心事項を踏まえた観光情報の発信に努め、ブログ記事などの拡充及び広報強化に取り組む。また、インバウンドに対応した協力飲食店等の情報を掲載し、ユーザーに役立つサイトの構築に努める。

- ・ 台湾向け情報発信事業

継続的に繁体字で観光情報を発信するとともに、Facebookを活用したユー

ザーとの双方向コミュニケーションにより、福岡県の認知度向上と誘客促進を図る。

- ・ **中国向け情報発信事業**

中国市場における個人旅行の増加傾向や福岡の認知度の低さという現状を踏まえ、継続的な個人旅行者への情報発信強化のため、中国二大 SNS である「WeChat(微信)」（月間アクティブユーザー約13億人）及び「Weibo(微博)」（月間アクティブユーザー約6億人）を活用し、福岡県の認知度向上と誘客促進を図る。

③ 情報誌発行

- ・ **「クロスロードふくおか」発行事業**

旅行会社、マスコミ、観光関連機関を配布先として、季節の特集やイベントカレンダー、トピックスを掲載して発行する。（季刊 15, 000部）

- ・ **「よかもん FUKUOKA」発行事業**

観光情報とモデルコースを掲載した“福岡県観光案内パンフレット”として広く活用してもらうため、人気のある観光情報を掲載する。（17, 000部）

（2）国内誘客 【235百万円】

① 国内向けプロモーション

- ・ **サイクルモード出展事業^⑨**

東京で開催される国内最大のスポーツバイクイベントである「CYCLE MODE TOKYO 2024」にブース出展し、福岡県が取り組むサイクルツーリズムの積極的なプロモーションを実施する。

- ・ **県内宿泊助成事業**

閑散期における旅行需要の喚起及び休日や都市部に集中する宿泊者の分散化を図るため、閑散期の平日における県内宿泊施設（政令市除く）に宿泊した

旅行者に助成を行い、県内各地への周遊促進を図る。

- **修学旅行の需要回復キャンペーン**

県内外の学校が本県を行程に組み込んだ修学旅行を実施する場合のバス費用を助成する。また、SDGs・ワンヘルス学習に対応した修学旅行用プログラムのモニターツアーを実施する。

- **広域観光エリアプロモーション事業**

観光素材の磨き上げに取り組んできた6つの広域観光エリアについて、体験プログラムの予約・購入ができる予約サイトと連携し、これまで造成してきた体験プログラムの販売支援及び SNS 等を活用した情報発信を行う。また、旅行商品の造成に向けて首都圏・関西圏等の旅行会社を対象とした招請事業を実施する。

- **九州修学旅行説明会・相談会**

東京・大阪・名古屋・広島地域を対象として、九州が一体となって平和、歴史、産業、環境等の修学旅行用素材を活用したプロモーションを実施する。

- **九州観光素材相談会**

「広域観光エリア」に関する情報など最新観光情報を集めた素材集をもとに、東京・大阪をはじめ送客の多い都市において、旅行会社を対象に九州が一体となったプロモーション、相談会を実施する。

- **ツーリズム EXPO 出展事業**

9月に東京で開催される国内最大の旅行イベントであるツーリズム EXPO に九州合同で参加し、「広域観光エリア」についての特設スペースを設けるなど、広域エリアのプロモーションを積極的に展開する。また、BtoB 商談会においては、市町村、観光協会と連携しプロモーションを実施する。

- **県外プロモーション事業**

県外で開催されるイベント等に出展・参加し、県内観光情報のプロモーションに取り組むなど積極的な誘客活動を行う。

- ・ **観光物産展での観光キャンペーン**

全国で開催される福岡物産展での県産品のプロモーションに併せて、県内の観光プロモーションも行い、福岡ファンの増加を目指す。

(3) 海外誘客 【 85百万円】

① 海外向けプロモーション

※海外向けプロモーションは、対象国・地域の状況等により変更する場合がある。

- ・ **英国日系旅行会社と連携した誘客事業^⑨**

英国に支店等を構える日系の旅行会社と連携し、現地でのネットワークを活かしたプロモーション活動を積極的に行い、本県の認知度向上と旅行商品の造成を促す。

- ・ **豪州の学校関係者・現地旅行会社の招請事業^⑨**

豪州からの訪日教育旅行誘致を図るため、現地の学校関係者や教育旅行を取り扱う旅行会社の招請を行う。

- ・ **豪州レップ事業**

オーストラリア国内の旅行関係事業者向けに、セールス、情報提供、教育、FAM トリップ、現地商談会の参加、DM 送付などを実施する。また、メディア向けにもセールスや情報提供を行い、本県の認知度向上と旅行商品造成を促す。

- ・ **富裕層向け高付加価値・高単価旅行商品造成事業**

県が実施するインバウンド向けの高付加価値・高単価旅行商品造成では、富裕層向けの海外商談会に参加する県内観光関連事業者、海外旅行会社招請事業へのプロモーションを行う。

- ・ **DCを活用したインバウンドプロモーション事業**

県がデスティネーションキャンペーンに向けて地域の観光素材を磨き上げ、インバウンド向けに繋ぎ合わせたモデルコースのプロモーション活動に参加し、本県の認知度向上及び誘客促進に努める。

・ **旅行事業者・メディア等の招請事業**

訪日旅行を取り扱う現地旅行会社、マスメディア・インフルエンサー等を招請するとともに、本県の観光素材、モデルコースの体験を対象国のメディア等で紹介し、本県の認知度向上と旅行商品造成の促進を促す。

・ **旅行博、商談会等への参加事業**

下記の対象国・地域で開催される旅行博、商談会等へ出展し、本県の観光素材等を効果的に発信し、認知度向上や旅行商品造成を働きかける。

【東アジア向けプロモーション(韓国、中国、香港、台湾)】

韓国:ソウルトラベルショー、日本酒フェア等への出展及びソウル、プサンでの現地商談会により BtoB、C 向けにプロモーションを実施

中国:現地旅行博覧会への出展及び福岡県上海事務所と連携した現地プロモーションにより BtoC 向けプロモーションを実施

台湾:台北国際観光博(TTE)、高雄市旅行公会国際旅展(KTF)及び台北での現地商談会により BtoB、C 向けにプロモーションを実施

香港:香港国際旅行展示会(ITE)に出展及び福岡県香港事務所と連携した現地プロモーションにより BtoC 向けプロモーションを実施

【東南アジア向けプロモーション(タイ、シンガポール、ベトナム)】

タイ:FIT フェアにおいて、福岡県バンコク事務所と連携した現地プロモーションにより BtoC 向けプロモーションを実施

【欧米向けプロモーション(米、英、仏、豪、北欧)】

イギリス:日系旅行会社ロンドン支社及と BtoB 向けプロモーションを実施

オーストラリア:佐賀県、長崎県との3県連携によるプロモーションを実施

アメリカ(ハワイ):佐賀県、長崎県との3県連携によるプロモーションを実施

収 支 予 算 書(正味財産増減計算書ベース)
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取会費	14,610,000	13,640,000	970,000	
正 会 員 費	14,610,000	13,640,000	970,000	
② 事業収益	200,000	200,000	0	
広 告 収 入	150,000	150,000	0	
受 取 事 業 助 成 金	50,000	50,000	0	
③ 受取補助金	536,392,000	541,177,000	△ 4,785,000	
受 取 福 岡 県 補 助 金	536,392,000	541,177,000	△ 4,785,000	
④ 受取負担金	0	2,369,000	△ 2,369,000	
受 取 負 担 金	0	2,369,000	△ 2,369,000	
⑤ 雑収入	10,000	10,000	0	
受 取 預 金 利 息	10,000	10,000	0	
経 常 収 益 計	551,212,000	557,396,000	△ 6,184,000	
(2) 経常費用				
① 事業費	547,108,000	553,606,000	△ 6,498,000	
役 員 報 酬	13,263,000	13,263,000	0	
給 与 手 当	66,020,000	65,280,000	740,000	
退 職 給 付 費 用	699,000	189,000	510,000	
福 利 厚 生 費	9,611,000	8,719,000	892,000	
旅 費 交 通 費	14,010,000	12,315,000	1,695,000	
通 信 運 搬 費	2,859,000	3,549,000	△ 690,000	
事 務 機 器 一 次 費	2,200,000	2,500,000	△ 300,000	
消 耗 品 費	2,402,000	2,419,000	△ 17,000	
印 刷 製 本 費	8,684,000	8,867,000	△ 183,000	
賃 借 料	3,639,000	5,867,000	△ 2,228,000	
保 険 料	200,000	200,000	0	
諸 謝 金	1,984,000	4,674,000	△ 2,690,000	
委 託 費	416,403,000	421,178,000	△ 4,775,000	
租 税 公 課	500,000	400,000	100,000	
支 払 負 担 金	2,420,000	2,365,000	55,000	
支 払 助 成 金	1,600,000	1,600,000	0	
支 払 手 数 料	439,000	0	439,000	
支 雑 費	175,000	221,000	△ 46,000	
② 管理費	4,104,000	3,790,000	314,000	
役 員 報 酬	1,152,000	1,152,000	0	
給 与 手 当	561,000	553,000	8,000	
退 職 給 付 費 用	78,000	21,000	57,000	
福 利 厚 生 費	187,000	181,000	6,000	
会 議 費	1,400,000	1,200,000	200,000	
旅 費 交 通 費	293,000	213,000	80,000	
通 信 運 搬 費	60,000	71,000	△ 11,000	
事 務 機 器 一 次 費	46,000	50,000	△ 4,000	
消 耗 品 費	52,000	46,000	6,000	
印 刷 製 本 費	178,000	177,000	1,000	
賃 借 料	76,000	117,000	△ 41,000	
租 税 公 課	10,000	4,000	6,000	
支 払 手 数 料	8,000	0	8,000	
支 雑 費	3,000	5,000	△ 2,000	
経 常 費 用 計	551,212,000	557,396,000	△ 6,184,000	
当 期 経 常 増 減 額	0	0	0	
2 経常外増減の部				
1) 経常外収益				
経 常 外 収 益 計				
2) 経常外費用				
経 常 外 費 用 計				
当 期 経 常 外 増 減 額				
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額				
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	4,500,000	4,500,000		5年度決算見込
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	4,500,000	4,500,000		
II 指定正味財産増減の部				
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額				
III 正味財産期末残高	4,500,000	4,500,000		

収支予算書内訳表
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	7,305,000	7,305,000	14,610,000
正会員費	7,305,000	7,305,000	14,610,000
② 事業収益	200,000		200,000
広告収入	150,000		150,000
受取事業助成金	50,000		50,000
③ 受取補助金	536,392,000		536,392,000
受取福岡県補助金	536,392,000		536,392,000
④ 雑収入	10,000		10,000
受取預金利息	10,000		10,000
経常収益計	543,907,000	7,305,000	551,212,000
(2) 経常費用			
① 事業費	547,108,000		547,108,000
役員報酬	13,263,000		13,263,000
給与手当	66,020,000		66,020,000
退職給付費用	699,000		699,000
福利厚生費	9,611,000		9,611,000
旅費交通費	14,010,000		14,010,000
通信運搬費	2,859,000		2,859,000
事務機リース費	2,200,000		2,200,000
消耗品費	2,402,000		2,402,000
印刷製本費	8,684,000		8,684,000
賃借料	3,639,000		3,639,000
保険料	200,000		200,000
諸謝金	1,984,000		1,984,000
委託金	416,403,000		416,403,000
租税公課	500,000		500,000
支払負担金	2,420,000		2,420,000
支払助成金	1,600,000		1,600,000
支払手数料	439,000		439,000
雑費	175,000		175,000
② 管理費		4,104,000	4,104,000
役員報酬		1,152,000	1,152,000
給与手当		561,000	561,000
退職給付費用		78,000	78,000
福利厚生費		187,000	187,000
会議費		1,400,000	1,400,000
旅費交通費		293,000	293,000
通信運搬費		60,000	60,000
事務機リース費		46,000	46,000
消耗品費		52,000	52,000
印刷製本費		178,000	178,000
賃借料		76,000	76,000
租税公課		10,000	10,000
支払手数料		8,000	8,000
雑費		3,000	3,000
経常費用計	547,108,000	4,104,000	551,212,000
当期経常増減額	-3,201,000	3,201,000	0
2 経常外増減の部			
1) 経常外収益			
経常外収益計			0
2) 経常外費用			
経常外費用計			0
当期経常外増減額			0
当期一般正味財産増減額			0
一般正味財産期首残高			4,500,000
一般正味財産期末残高			4,500,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			0
III 正味財産期末残高			4,500,000

第1号議案 令和5年度収支決算について

定款第36条の規定により承認を求めます。

貸借対照表 令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	33,756,831	19,960,056	13,796,775
現金	44,408	79,911	△ 35,503
普通預金福岡銀行博多駅前支店	26,324,060	14,806,184	11,517,876
普通預金筑邦銀行福岡支店	1,982,660	1,747,973	234,687
普通預金西日本シティ銀行本店	5,405,703	3,325,988	2,079,715
未収金	2,656,000	4,600,000	△ 1,944,000
流動資産合計	36,412,831	24,560,056	11,852,775
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	8,277,024	8,068,546	208,478
特定資産合計	8,277,024	8,068,546	208,478
固定資産合計	8,277,024	8,068,546	208,478
資産合計	44,689,855	32,628,602	12,061,253
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	16,159,561	5,508,282	10,651,279
預り金	1,276,863	1,197,094	79,769
流動負債合計	17,436,424	6,705,376	10,731,048
2. 固定負債			
退職給付引当金	8,277,024	8,068,546	208,478
固定負債合計	8,277,024	8,068,546	208,478
負債合計	25,713,448	14,773,922	10,939,526
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	18,976,407	17,854,680	1,121,727
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	18,976,407	17,854,680	1,121,727
負債及び正味財産合計	44,689,855	32,628,602	12,061,253

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	138	124	14
特定資産受取利息	138	124	14
受取会費	13,990,000	13,120,000	870,000
受取会費	13,990,000	13,120,000	870,000
事業収益	313,697	306,813	6,884
事業収益	13,697	6,813	6,884
広告収益	300,000	300,000	0
受取補助金	541,177,000	343,493,000	197,684,000
受取福岡県補助金	541,177,000	343,493,000	197,684,000
受取負担金	13,991,832	16,660,510	△ 2,668,678
受取負担金	13,991,832	16,660,510	△ 2,668,678
受託金収入	0	1,523,000	△ 1,523,000
観光プロモーション推進事業費受託金	0	1,523,000	△ 1,523,000
雑収益	1,987,788	1,432,861	554,927
受取預金利息	2,288	601	1,687
雑収益	1,985,500	1,432,260	553,240
経常収益計	571,460,455	376,536,308	194,924,147
(2) 経常費用			
事業費	566,629,021	372,625,703	194,003,318
役員報酬	13,260,324	13,260,292	32
給料手当	75,544,856	69,123,636	6,421,220
退職給付費用	187,644	189,085	△ 1,441
福利厚生費	9,189,431	8,461,179	728,252
旅費交通費	18,871,395	11,880,765	6,990,630
通信運搬費	3,263,203	3,054,739	208,464
消耗什器備品費	3,419,430	2,678,894	740,536
消耗品費	2,135,400	3,390,180	△ 1,254,780
印刷製本費	10,713,086	9,821,060	892,026
賃借料	2,345,346	3,603,827	△ 1,258,481
保険料	239,670	123,470	116,200
諸謝金	589,336	4,260,562	△ 3,671,226
租税公課	323,269	150,368	172,901
支払負担金	2,375,000	2,340,000	35,000
支払助成金	1,400,000	1,400,000	0
委託費	421,602,530	238,579,033	183,023,497
支払手数料	1,072,345	181,666	890,679
雑費	96,756	126,947	△ 30,191
管理費	3,709,707	3,812,273	△ 102,566
役員報酬	1,153,036	1,153,068	△ 32
給料手当	543,722	588,823	△ 45,101
退職給付費用	20,834	21,009	△ 175
福利厚生費	173,109	167,621	5,488
会議費	1,047,300	1,147,534	△ 100,234
旅費交通費	319,099	242,110	76,989
通信運搬費	63,202	60,534	2,668
消耗什器備品費	66,227	54,671	11,556
消耗品費	41,358	69,121	△ 27,763
印刷製本費	207,491	190,940	16,551
賃借料	45,425	73,548	△ 28,123
租税公課	6,261	37,592	△ 31,331
支払手数料	20,769	3,315	17,454
雑費	1,874	2,387	△ 513
経常費用計	570,338,728	376,437,976	193,900,752
当期経常増減額	1,121,727	98,332	1,023,395
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	47,436	△ 47,436
過年度損益修正益	0	47,436	△ 47,436
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	47,436	△ 47,436
当期一般正味財産増減額	1,121,727	145,768	975,959
一般正味財産期首残高	17,854,680	17,708,912	145,768
一般正味財産期末残高	18,976,407	17,854,680	1,121,727
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	18,976,407	17,854,680	1,121,727

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	138		138
特定資産受取利息	138		138
受取会費	6,995,000	6,995,000	13,990,000
受取会費	6,995,000	6,995,000	13,990,000
事業収益	313,697		313,697
事業収益	13,697		13,697
広告収益	300,000		300,000
受取補助金	541,177,000		541,177,000
受取福岡県補助金	541,177,000		541,177,000
受取負担金	13,991,832		13,991,832
受取負担金	13,991,832		13,991,832
雑収益	1,987,788		1,987,788
受取預金利息	2,288		2,288
雑収入	1,985,500		1,985,500
経常収益計	564,465,455	6,995,000	571,460,455
(2) 経常費用			
事業費	566,629,021		566,629,021
役員報酬	13,260,324		13,260,324
給料手当	75,544,856		75,544,856
退職給付費用	187,644		187,644
福利厚生費	9,189,431		9,189,431
旅費交通費	18,871,395		18,871,395
通信運搬費	3,263,203		3,263,203
消耗什器備品費	3,419,430		3,419,430
消耗品費	2,135,400		2,135,400
印刷製本費	10,713,086		10,713,086
賃借料	2,345,346		2,345,346
保険料	239,670		239,670
諸謝金	589,336		589,336
租税公課	323,269		323,269
支払負担金	2,375,000		2,375,000
支払助成金	1,400,000		1,400,000
委託費	421,602,530		421,602,530
支払手数料	1,072,345		1,072,345
雑費	96,756		96,756
管理費		3,709,707	3,709,707
役員報酬		1,153,036	1,153,036
給料手当		543,722	543,722
退職給付費用		20,834	20,834
福利厚生費		173,109	173,109
会議費		1,047,300	1,047,300
旅費交通費		319,099	319,099
通信運搬費		63,202	63,202
消耗什器備品費		66,227	66,227
消耗品費		41,358	41,358
印刷製本費		207,491	207,491
賃借料		45,425	45,425
租税公課		6,261	6,261
支払手数料		20,769	20,769
雑費		1,874	1,874
経常費用計	566,629,021	3,709,707	570,338,728
当期経常増減額	△ 2,163,566	3,285,293	1,121,727
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,163,566	3,285,293	1,121,727
一般正味財産期首残高	△ 8,746,183	26,600,863	17,854,680
一般正味財産期末残高	△ 10,909,749	29,886,156	18,976,407
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 10,909,749	29,886,156	18,976,407

財産目録
令和6年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	44,408
	預金	普通預金福岡銀行 博多駅前支店	運転資金として	26,324,060
		普通預金筑邦銀行 福岡支店	運転資金として	1,982,660
		普通預金西日本シ ティ銀行本店	運転資金として	5,405,703
	未収金			2,656,000
流動資産合計				36,412,831
(固定資産)				
特定資産	退職給付引当資産		職員に対する退職金の支 払いに備えたもの	8,277,024
固定資産合計				8,277,024
資産合計				44,689,855
(流動負債)				
	未払金		公益目的及び管理目的 の業務に使用する費用	16,159,561
	預り金		保険料等の預かり分	1,276,863
流動負債合計				17,436,424
(固定負債)				
	退職給付引当金		職員に対する退職金の支 払いに備えたもの	8,277,024
固定負債合計				8,277,024
負債合計				25,713,448
正味財産				18,976,407

財務諸表に対する注記 （公社）福岡県観光連盟
令和6年3月31日現在
法人全体

- 1 重要な会計方針
(1) 固定資産の減価償却の方法
①固定資産の減価償却方法は、定率法で行っている。
2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小計	0	0	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	8,068,546	208,478	0	8,277,024
小計	8,068,546	208,478	0	8,277,024
合計	8,068,546	208,478	0	8,277,024

- 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
小計	0	0	0	—
特定資産				
退職給付引当資産	8,277,024	0	0	8,277,024
小計	8,277,024	0	0	8,277,024
合計	8,277,024	0	0	8,277,024

- 4 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
受取福岡県補助金	福岡県	—	541,177,000	541,177,000	—	
負担金						
受取負担金	福岡県観光推進協議会等	—	13,991,832	13,991,832	—	
合計		—	555,168,832	555,168,832	—	

5 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、未払金、未払消費税、預り金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記6に記載するとおりである。

- 6 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳
(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	19,960,056	33,756,831
未収金	4,600,000	2,656,000
合計	24,560,056	36,412,831
未払金	5,508,282	16,159,561
預り金	1,197,094	1,276,863
合計	6,705,376	17,436,424
次期繰越収支差額	17,854,680	18,976,407

7 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	8,068,546	208,478	—	—	8,277,024